# 1

# 「農業及び農村の状況並びに農業及び農村の振興に関する施策の実施状況」の報告について

- ○長野市農業振興条例第10条に基づく、農業及び農村の振興に 関する計画(「**長野市農業振興アクションプラン」**)
- ○同条例第11条に基づき、毎年度、施策の実施状況等を市議会に報告 議会には「長野市農業振興アクションプラン」も含め、「長野市の 農林業」にまとめて提出する
- ○報告及び公表のスケジュール令和5年8月29日 部長会議、議長に報告令和5年10月3日 政策説明会 終了後、市HPで公表令和5年10月 市議会臨時会で「諸般の報告」

- ○計画期間:令和4年度~令和8年度の5年間
- 〇本市農業の将来像: 三実一体で実現する力強い長野市農業
- ○長野市農業振興アクションプランの体系

重	_	4	*
<b>—</b>	_	Tibe	
92		ИΠΙ	-

#### 大項目

### 中項目

#### 小項目

## 施策1

多様な担い手づく りと農地の有効利 用の推進 ① 農業の多様な担い手 の確保と育成

- ア 中心的な担い手となる農業者の育成
- イ 新たな担い手の確保
- ウ 農業者を支える団体の活動支援
- ② 農地の有効利用と 農業生産基盤の整備
- ア 優良農地の確保と農地の有効利用
- イ 農業生産基盤の整備と維持管理

## 施策2

地域の特性を活 かした生産振興と 販売力強化の促 進

- ③ 地域の特性を活かし た生産振興
- ア 主要農畜産物の生産振興
- イ 中山間地域の生産振興
- ウ 安全・安心な農産物づくり
- 工 災害対策 野生鳥獣対策
- ④ 農産物の販売力強化 と他産業との連携
- ア 販路の拡大
- イ 付加価値の向上
- ⑤ 農業・農村に対する 理解の促進
- ア 地産地消
- イ 都市と農村の交流

の具体的な取組

40

▶将来像の実現に向け、2つ の重点施策のもとに、40の 小項目を実施

40の取組みを大項目で管理

## 〇長野市の農業生産額(推計)

品目	令和3年産		令和4年産		生産額増減
	生産額	構成比	生産額	構成比	工生识归侧
米	18.0億円	9.3%	18.6億円	9. 7%	0.6億円
麦類・雑穀・豆類	0.9億円	0.5%	0.9億円	0.5%	0億円
野菜 (いも類含む)	19.8億円	10.2%	17.8億円	9.3%	△2.0億円
果樹	84.4億円	43.6%	90.9億円	47.3%	6.5億円
畜産	2.8億円	1. 5%	2.6億円	1.4%	△0.2億円
花き	2.8億円	1.5%	2.8億円	1.5%	0億円
栽培きのこ	64.5億円	33. 3%	58.0億円	30. 2%	△6.5億円
その他	0.3億円	0.1%	0.3億円	0.1%	0億円
合計	193.5億円	100.0%	191.9億円	100.0%	△1.6億円

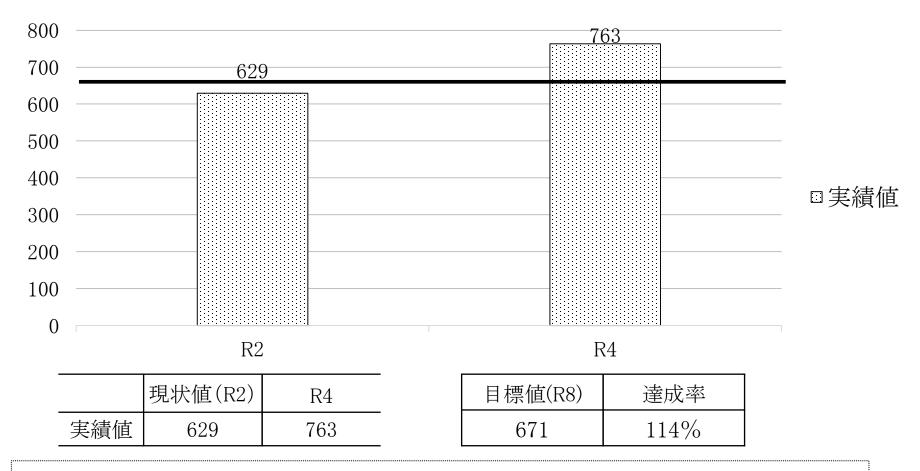
〔生産額の算出式〕 栽培面積×単収×単価

## 〇4つの指標

指標	内容	現状値(R2)	令和4年度	目標値(R8)
①地域の中心経営体 (経営体)	各年度末時点で人・農地プランに掲載 されている経営体の数	629	763	671
②農地の利用権設定面積 (ha)	農業委員会事務局農地情報公開システ ム登録面積	752. 7	862. 9	992. 7
③果樹の新品種・新技術 導入による栽培面積(ha)	りんご新わい化、ぶどう新品種の栽培 面積推計値	120. 5	176. 8	180. 5
④計画期間の市農業生産 額の累積(億円)	市全体の農業生産額の令和4年産から 8年産まで(5年間)の累積	192. 6	191. 9	1, 020

# 長野市農業振興アクションプラン「4指標」の状況

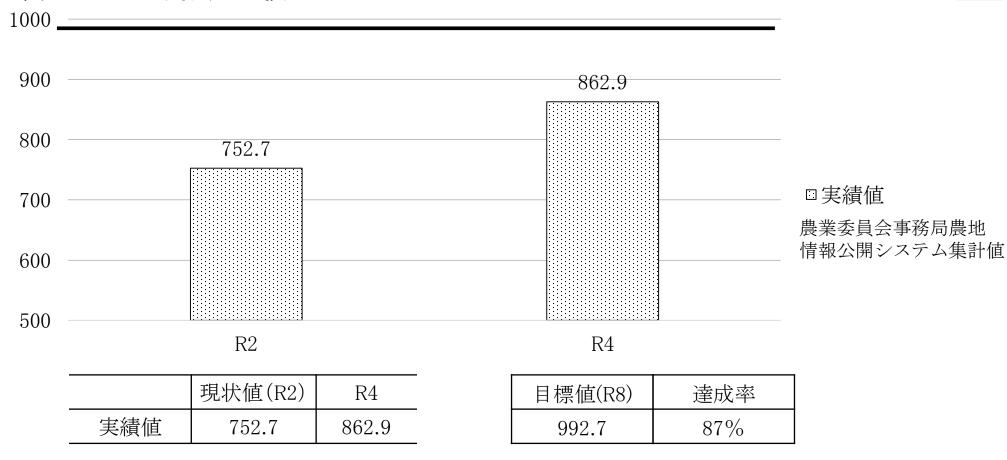
# 1 地域の中心経営体(経営体) ※積み上げグラフ



## 〇地域の中心経営体は令和2年度より134経営体増で目標達成 【要因】

▶農地中間管理事業(機構による農地のマッチング)の借り手側の増

# 2 農地の利用権設定面積(ha)

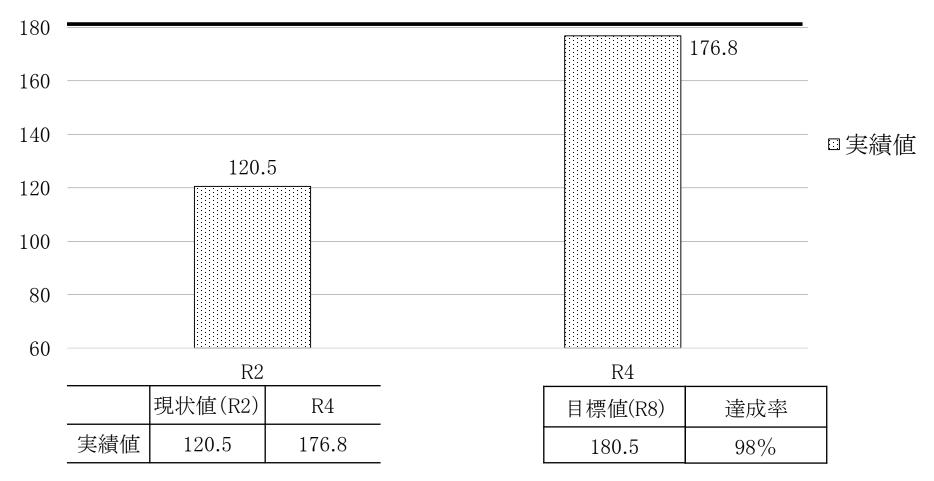


# 〇農地の利用権設定面積は令和2年度より110. 2ha増

【要因】

▶農業者の経営規模拡大により、担い手への権利移動が進んだ

# 3 果樹の新品種・新技術導入による栽培面積(ha)

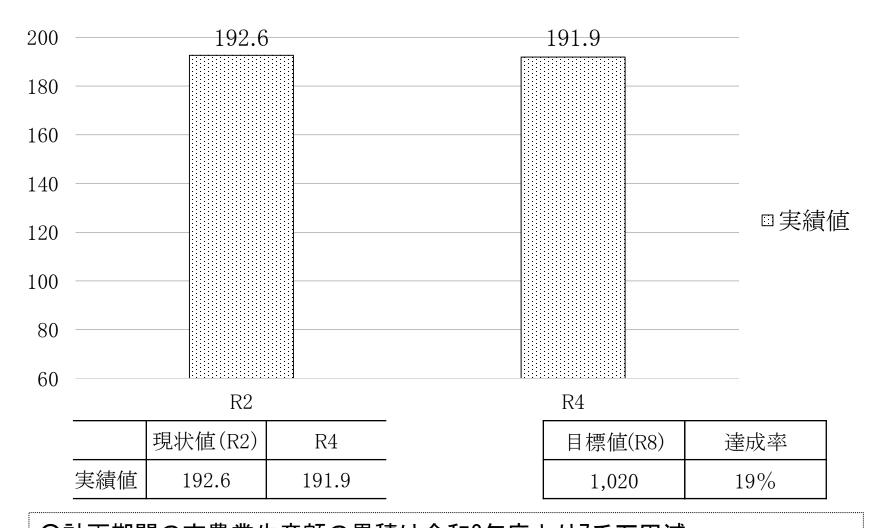


# ○果樹の新品種・新技術導入による栽培面積は令和2年度より56.3ha増 【要因】

▶りんご新わい化栽培推進事業、ぶどう新品種推進事業の継続的な実施

➤ J A との連携や農業者の意識向上 など

# 4 計画期間の市農業生産額の累積(億円)



# 〇計画期間の市農業生産額の累積は令和2年度より7千万円減 【要因】

▶原油価格高騰により栽培きのこの生産量の減少